

杉の子特別支援学校及び石薬師分校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

昭和39年に加佐登小学校と白鳥中学校の教員が隣接する国立療養所鈴鹿病院へ出向いて出張授業を開始したことから始まった杉の子特別支援学校は、地域のニーズに応えながら学びのカタチを変え、令和5年度からは鈴鹿亀山地域の肢体不自由教育と知的障がい教育を担う特別支援学校となりました。

<新しい学びのカタチ>

教育部門	小学部	中学部	高等部
肢体不自由教育	本校（加佐登）	本校（加佐登）	本校（加佐登）
知的障がい教育	本校（加佐登）	分校（石薬師）	分校（石薬師）

令和5年度は、「新しい学びのカタチ」へのスムーズな移行を模索した1年でした。

本校においては、校舎横道路の拡幅、トイレの改修、医ケア設置などの施設改修や支援体制の充実、肢体不自由教育の整備等に取り組みました。石薬師分校においては、校舎改修や中学部と高等部が一体となった学校運営、石薬師高校との連携の在り方の検討等を行いました。また、知的障がいのある子どもたちが、小学部と中学部・高等部で離れてしまうため、系統性を補うことを目的にした小学部の保護者も参加できる進路説明会を石薬師分校で行いました。

「新しい学びのカタチ」2年目となる今年度は、本校および石薬師分校の『発展の年』と位置付け、学校教育目標の実現に向けて、次の5点を重点に教育活動を行っていきます。

学校教育目標「一人ひとりの児童生徒の可能性を引き出し、生きる力を育成する

（重点項目）

- 1 児童生徒や保護者の思いに寄り添った指導を行うとともに、教職員の専門性の向上に取り組めます。
- 2 安全なスクールバス運行、医療的ケアの充実、安全安心な給食の提供に取り組むとともに、危機管理体制を充実させます。
- 3 小中高の系統的なキャリア教育に取り組めます。特に、卒業後の進路を見据えた現場実習や職業体験学習、作業学習を充実させます。
- 4 児童生徒の課題を見据えた人権教育、性に関する指導、いじめを許さない取組など命を大切にする教育を充実させます。
- 5 地域活動への参加、スクールボランティアの導入をはじめ、地域と連携した協働活動を充実させます。
- 6 鈴鹿亀山地域の特別支援学校として、特別支援教育におけるセンター的機能を充実させます。

皆様のご理解とご協力を得て、取り組んでまいります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

令和6年4月 校長 小林 高人